

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第245回

前田慶次（利益）

（漫画：花の慶次）の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年4月12日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

虎は何故強いと思う？元々強いからよ！



前田 利益（まえだ とします）は、戦国時代末期から江戸時代初期にかけての武将。滝川一族の出身だが、荒子城主・前田利久の養子となった。加賀百万石の祖・前田利家は叔父。利益以外にも利貞、利太など、さまざまな名前が伝えられているものの、現在では小説や漫画の影響で前田慶次／慶次郎（まえだ けいじ／けいじろう）の通称で知られる。また穀藏院瓢戸斎（こくそういん ひょっとこさい）、穀藏院忽之斎（こくそういん ひょつとさい）、龍碎軒不便斎（りゅうさいけん ぶんべんさい）という人を食った道号も伝えられている。さらに『鷹筑波』『源氏竟宴之記』によると、連歌会では「似生」という雅号を用いていた。虚実入り混じった多くの逸話により「天下御免の傾奇者」と囃される一方、高い文化的素養を備えた文人武将でもあった。（Wikipedia 参照）

Column

慶次という名は通称であり、本名は利益（とします）だそうです。画像にも使用しましたが、『花の慶次』という漫画などの影響で通称の方が有名になっているようです。漫画の中でも多くの逸話があり、『傾奇者（かぶきもの）』と称された武将です。今回の言葉は、物語の中で慶次が相手に“虎は武器を持っているから強いのではなく、元々優れた運動能力や、恵まれた体格を持って生まれてきたから強いのであって、強くなるための努力をしているわけでも強くなりたいと思っているわけでもない”という意味で伝え、“自分（慶次）も元々強いからあなたのように武装する必要はない。だからあなたに私は倒せない”という非常に強気な発言と感ずる言葉です。

世の中には本当に“元々強い”と感ずる人もいますが、その反対に“元々弱い”と感ずる人もいます。人はそれぞれ見た目や体格、性別だけでなく、生まれ持った才能（特性）に違いがあります。そういう意味では、いわゆる“向き不向き”によってスタートの時点ではレベルに差があって当然です。今回の言葉から『上には上がいるから・・・』と諦めるのではなく、また、『このくらいで十分だ』と現状に満足（妥協）するようなことはせず、“もっともっと！”と努力を重ねる気持ちを持ってほしいという思いで紹介しました。

何度も述べてきましたが、自分と人（仲間）の特性は違います。例えば自分にとって簡単なことでも難しいと感ずる人もいるということを理解しましょう。仲間の特性、自分の特性を理解しながら互いに尊重し合い、高め合いながら自己実現に向けて共に進んでいきましょう！世の中は様々な人の努力によって成り立っています。努力できることはひとつの才能です。“今は”まだ目標にはほど遠いと感ずているとしても、みなさんの可能性は無限大です！努力の天才が正智深谷高校から続々誕生してほしいと心から願っています！